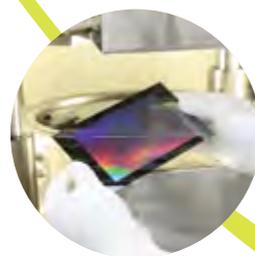


産学官の連携による創造的研究開発拠点

新川崎・創造のもり



川崎市

KAWASAKI CITY

“産業集積拠点”川崎市～連携と先端技術開発の進展～



川崎市は、首都圏の中心部に位置し、優れた技術を持つ中小企業が集積するとともに、京浜工業地帯の中核を担う、日本有数の製造業集積都市です。さらに、都市型工業地域の特色を生かした試作開発・商品開発を担う知識集約型・高付加価値型の産業構造への転換も進み、約400の研究開発機関が集積する研究開発都市でもあります。

マイコンシティ

エレクトロニクス・情報・通信関連産業等の集積を目指した国際的な研究開発拠点

明治大学地域産学連携研究センター

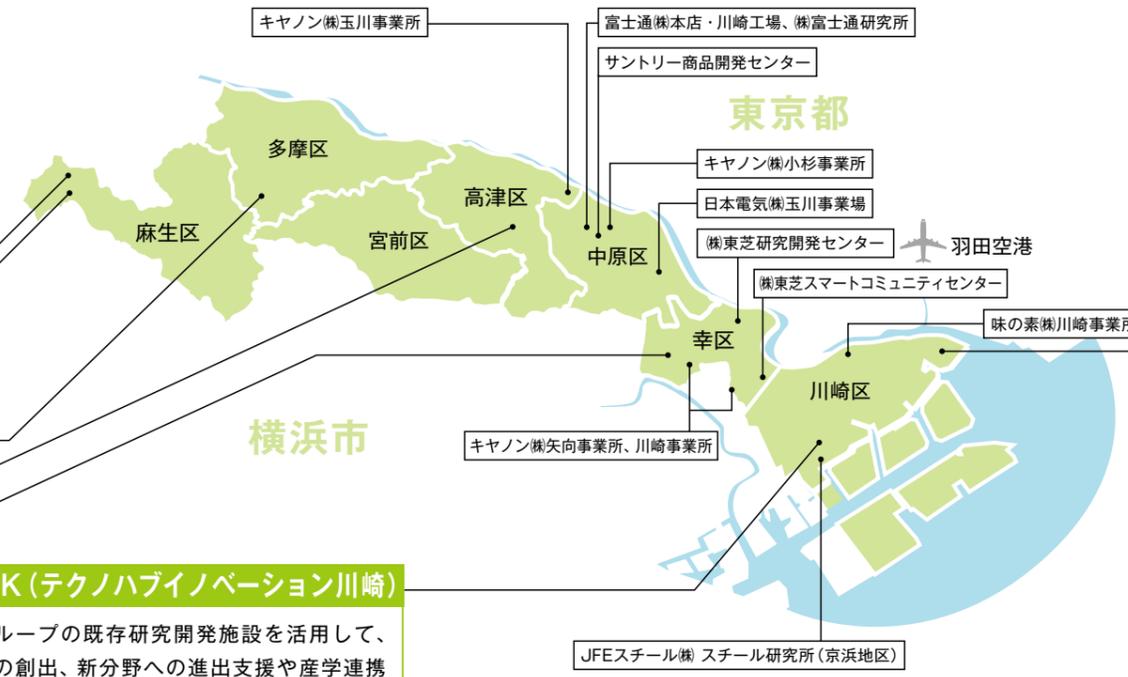
明治大学の技術シーズ・知的資源を有効活用し、新技術・新事業の創出、地域中小企業の育成等を行う地域連携の交流促進拠点

KSP (かながわサイエンスパーク)

日本初の都市型サイエンスパークであり、規模は日本最大級(敷地面積約55,000㎡、就業者数約4,500名)

THINK (テクノハブイノベーション川崎)

JFEグループの既存研究開発施設を活用して、新事業の創出、新分野への進出支援や産学連携共同研究の実現を目指すサイエンスパーク



殿町地区キングスカイフロント

羽田空港の対岸に位置する殿町3丁目を中心としたライフサイエンス分野の研究開発拠点/平成23年12月「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」に指定
平成26年5月「東京圏国家戦略特区」に指定



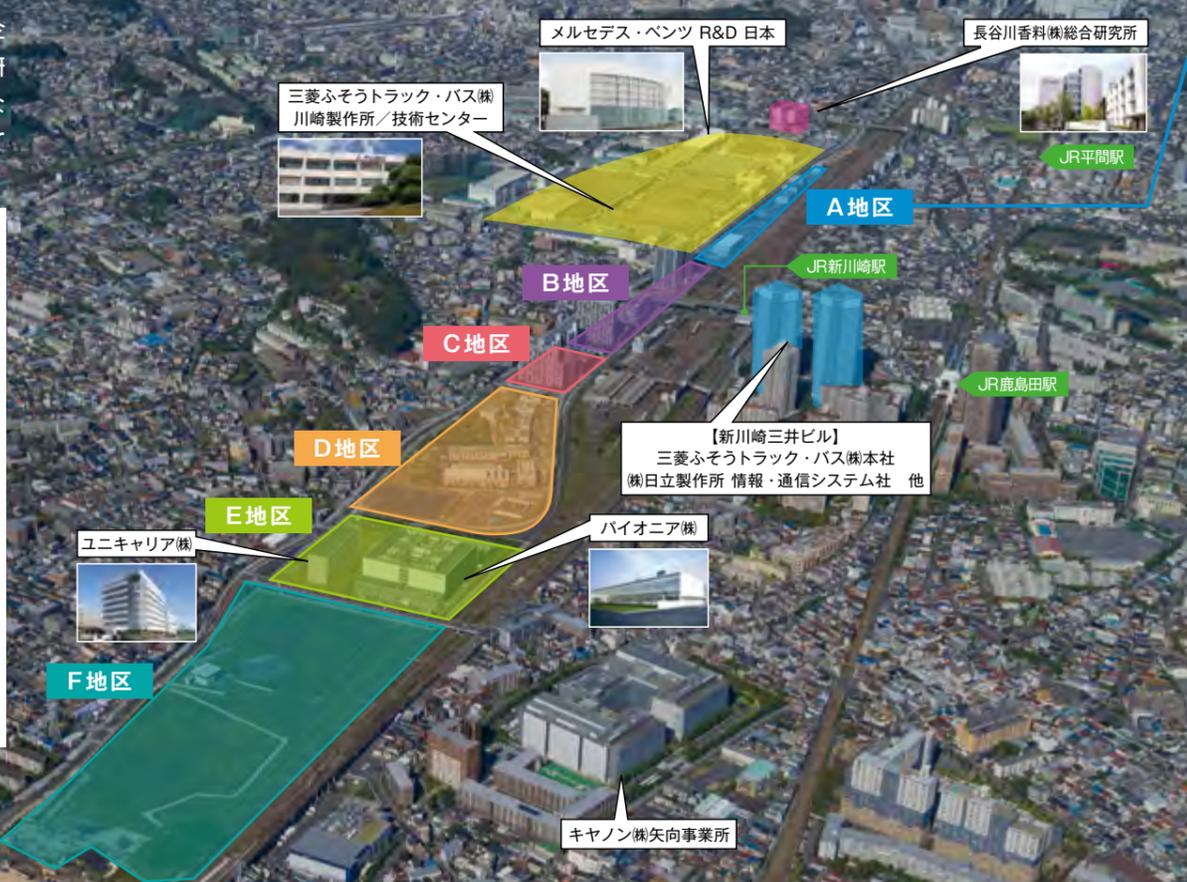
「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」殿町キングスカイフロント及び新川崎地区の両拠点の特徴・強みを生かし、特区内のさらなる連携を強化していきます。

新川崎地区

産学官連携による新産業の創出を目指す先端技術の集積拠点/平成25年10月「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」に追加指定

新川崎地区は、D地区(創造のもり)への企業・大学の進出のほか、新川崎A地区に研究開発型のものづくり企業が進出するなど、1万8,000人余の従業者が集積していると推計されています。

- A地区** 4.3ha 高度な技術力をもつ製造業の集積ゾーン
- B地区** 3.9ha 商業・業務、都市型居住ゾーン
- C地区** 2.0ha 都市型居住ゾーン
- D地区** 8.1ha 研究開発・交流ゾーン・新川崎・創造のもり
- E地区** 4.8ha 産業創出・育成ゾーン・バイオニア(株)・ユニキャリア(株)
- F地区** 10.1ha 都市型居住等の複合ゾーン・小学校等



A地区立地企業



新川崎地区ネットワーク協議会



- ### 新川崎地区ネットワーク協議会の3つの重点活動領域
- 産学連携・産産連携の推進
 - 会員の操業環境等の向上
 - 市民との交流の推進



新川崎地区の産業基盤を活かして、平成24年7月に新川崎地区内の企業・大学を中心とした産学連携、産産連携を目指す組織「新川崎地区ネットワーク協議会」が発足。産学連携事業等に活発に取り組んでいます。



新川崎・創造のもりは、産学官の連携による新しい科学・技術や産業を創造する研究開発拠点の形成と、次世代を担う子どもたちが科学・技術への夢を育む場づくりを目指し、段階的な施設整備を推進しています。

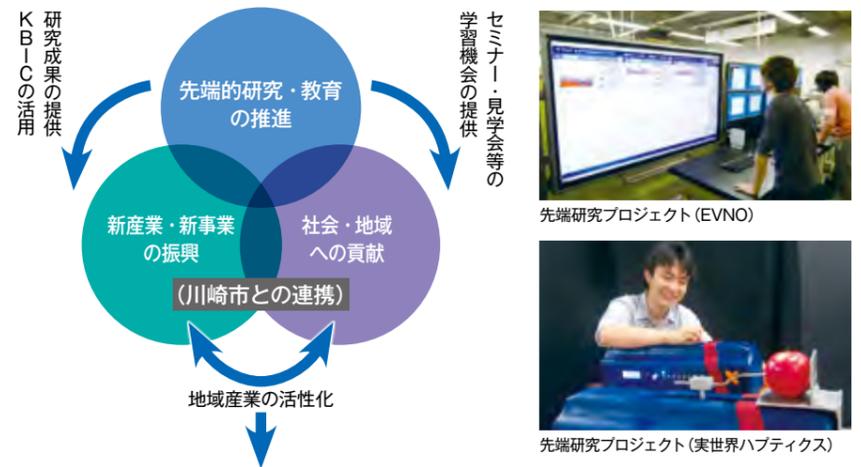
これまでの経緯

平成11年2月	「新川崎・創造のもり計画」の策定
平成11年2月	「新川崎・創造のもり計画」の推進への協力に関する川崎市と慶應義塾の協定締結
平成12年7月	【第1期事業】 慶應義塾大学の先導的研究施設「K ² タウンキャンパス」の開設
平成15年1月	【第2期事業】 ベンチャービジネス創出拠点「かわさき新産業創造センター（KBIC）」の開設
平成17年1月	新川崎地区・地区計画の策定
平成20年9月	新川崎・創造のもり第3期事業用地 土地利用方針の策定
平成21年1月	「4大学ナノ・マイクロアプリケーションコンソーシアムと川崎市との連携協力に関する基本合意」締結 4大学コンソーシアムの研究成果を地域産業の活性化に生かし、先端科学技術による世界への貢献を目指した連携協力
平成21年11月	川崎市と慶應義塾との連携・協力に関する基本協定の締結
平成22年10月	新川崎・創造のもり第3期事業地区 産学官共同研究施設整備基本計画の策定
平成24年1月	東京大学、日本アイ・ビー・エム株式会社、川崎市による「東京大学社会連携講座の実施に関する基本協定」の締結 「省エネルギーを目指した、次世代ナノ・マイクロデバイスとシステム」をテーマとした研究を実施
平成24年4月	【第3期第1段階事業】 ナノ・マイクロ産学官共同研究施設「NANOBIIC」の開設
平成25年10月	「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」に新川崎A,D,E地区が追加指定
平成26年5月	【第3期第2段階事業】 産学交流・研究開発施設整備基本計画策定



【第1期事業】 K²(ケイスクエア) タウンキャンパス

慶應義塾大学の先導的研究施設



建物	研究棟4棟 (K棟、E棟、I棟、O棟)、厚生棟1棟 (K ² ハウス)
構造	鉄骨造2階建
敷地面積	約 16,000㎡
建築面積	約 3,150㎡
延床面積	約 6,301㎡



【第2期事業】 かわさき KBIC

ベンチャービジネス創出拠点



建物	本館、別棟
構造	鉄骨造2階建
建築面積	本館 約 1,854㎡、別棟 約 113㎡
延床面積	本館 約 3,428㎡、別棟 約 212㎡
主な諸室	スモールオフィス (各室 15㎡)、ラボ (各室 30~200㎡)、打合せ・交流コーナー (106㎡)、会議室 (50㎡)、アメニティコーナー (78㎡)、ものづくり工房 (100㎡)、CAD/CAM研修室 (47㎡) 等

【第3期事業】 かわさき新産業創造センター新館 NANOBIIC

ナノ・マイクロ産学官共同研究施設

- 環境・ライフサイエンス等様々な分野に応用が期待されるナノ・マイクロ技術の産学官共同研究施設
- 大型クリーンルーム (750㎡) を備え、「加工～試作～計測～評価」の一連の作業が可能
- 4大学 (慶應・早稲田・東工大・東大) ナノ・マイクロアプリケーションコンソーシアムの有する最先端の研究機器を導入し、企業等へ開放
- 4大学コンソーシアム、日本IBM等のナノ・マイクロ技術に関する世界最先端の研究機関やナノテクベンチャー企業等が集積

※ナノ・マイクロとは…ナノ (10億分の1) メートル、マイクロ (100万分の1) メートルといった「超微細な領域を表す単位」です。

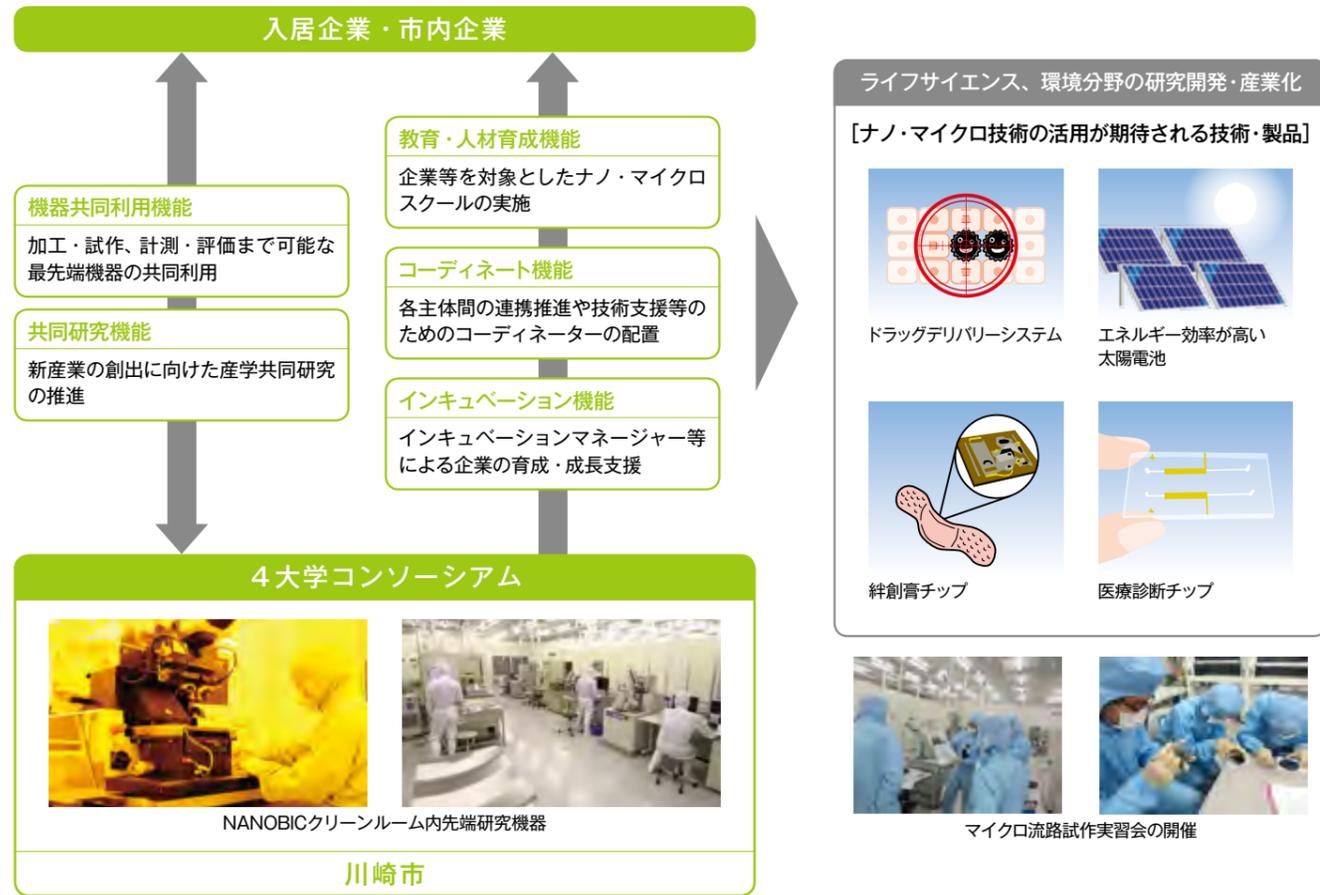


建物	研究棟、クリーンルーム棟
構造	鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート造2階建
建築面積	約 3,616㎡
延床面積	[研究棟 約 1,174㎡、クリーンルーム棟 約 2,442㎡] 約 4,816㎡
主な諸室	[研究棟 約 1,977㎡、クリーンルーム棟 約 2,839㎡] ラボ (各室 50㎡)、クリーンルーム (750㎡・一部クラス100)、ビジター室2室 (各室 25㎡)、会議室 (100㎡)、交流コーナー、アメニティコーナー等



ナノ・マイクロ技術を活用した研究開発をトータルで支援

平成24年度にオープンしたNANOBIICでは、インキュベーション事業の他、市内中小企業等を対象としたナノ・マイクロ技術支援講座の開催、4大学が保有する最先端の機器を企業等に貸し出す機器共同利用事業を行うなど、市内事業者のものづくり技術の高度化に向けて、トータルで支援を行っています。



イノベーションの創出に向けた新たな施設の整備

新川崎・創造のもりの第3期第2段階事業（次期事業）として、新たに「産学交流・研究開発施設」の整備を予定しています。新たな施設は、創造のもり地区の企業・大学や周辺の企業等が集い、交流する結節点としての役割を果たし、これまで多数創出してきた「イノベーション」（科学的・工学的な発見）をさらに発展させ、我が国経済をけん引する新たな「イノベーション」の創出を目指します。



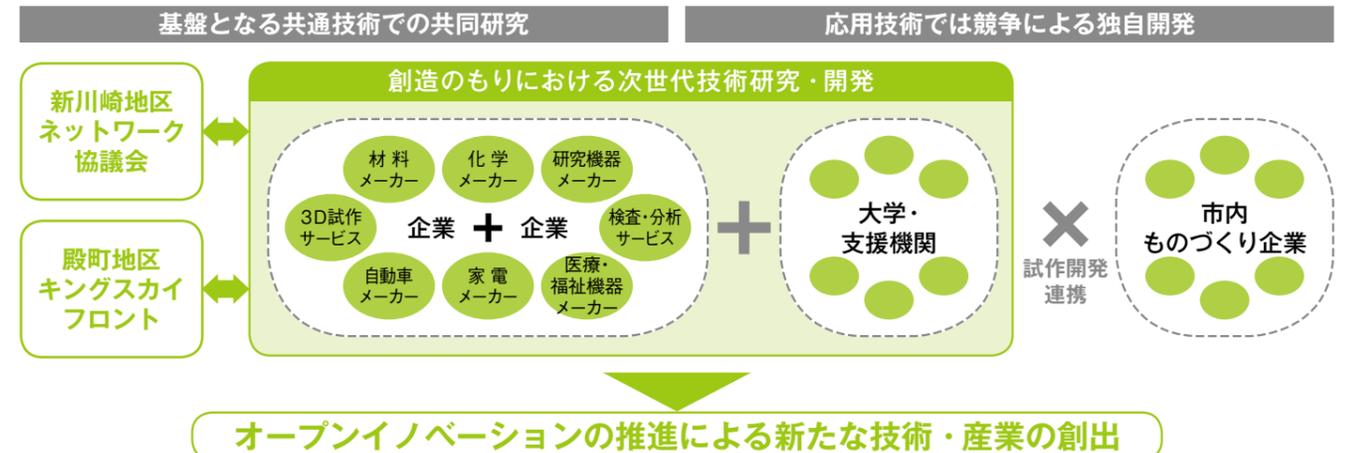
産学交流・研究開発施設の整備 計16,000㎡規模を想定

多様な研究環境に対応	
研究開発機能	約10,800㎡
・企業・大学等の研究開発スペース	7,200㎡
・インキュベーションスペース	3,600㎡
多様な利用形態に柔軟対応する可能性豊かな空間	
産学連携・交流機能	約670㎡
・多目的会議室	
・交流スペース	
憩う空間から日常的な交流を推進	
アメニティ機能	約200㎡
・飲食スペース	
・物販スペース	
その他共用部	約4,330㎡
エントランス、交流ラウンジ、廊下・階段、E.L.V・設備室等	

<整備スケジュール> 平成28年度 着工、平成29年度以降供用開始(予定)

オープンイノベーションの推進

新川崎・創造のもりでの研究開発活動は、企業・大学が集い、交流する世界的な研究開発拠点を参考とし、研究開発のオープン化を進めます。また、「新川崎地区ネットワーク協議会」や「殿町地区キングスカイフロント」との連携により、ライフサイエンス分野等での革新的な技術・製品、産業の創出を図るなど、「オープンイノベーション」の実現を目指します。



創造のもりで展開されている活動

ナノテクセミナー・ナノ茶論(サロン)

「ナノテクセミナー」の定期開催、ナノ・マイクロ技術を活用したアプリケーションの開発や業界の最新動向についてディスカッションする少人数制のサイエンスカフェ「ナノ茶論」の毎月開催など、技術者・研究者の交流機会を多数設けています。



科学とあそぶ幸せな一日

創造のもりで毎年秋に開催される子ども向けの科学体験イベントです。地域の企業・大学・団体の協力により、子どもたちの科学の夢を育む実験教室や工作教室、展示などが行われ、当日は、多くの家族連れで賑わいます。



新川崎・創造のもり アクセスのご案内



〒212-0032 川崎市幸区新川崎7-7 TEL:044-587-1105 FAX:044-587-1106

お問い合わせ先
川崎市経済労働局次世代産業推進室
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階
TEL:044-200-2407 FAX:044-200-3920
28sozo@city.kawasaki.jp